

## 福岡県獣医師会と連携した事業等の経過とその成果

福岡県教育庁教育振興部義務教育課

### 1 福岡県獣医師会と連携した事業等の経過

#### (1) 学校動物愛護モデル体験活動

- 平成11、12年度、エンジョイスクール推進事業の一環として実施。
- 各年度、県内で12のモデル校を指定し、1校あたり年3回程程度の体験活動を実施。
- 主な内容
  - ・県獣医師会の協力を得て、動物に関係する生活科等の授業や動物愛護教室の中で、児童が地域の獣医師（協力医）から直接指導を受ける。
  - ・飼育動物の病気やけがの処置、世話等について教職員や児童が協力医に相談する。

#### (2) 学校動物等調査研究活動

- 平成13～15年度、やるキッズ支援事業の一環として実施。
- 各年度、県内で12～13の小学校を実施校として指定。
- 主な内容
  - ・獣医師の専門的な指導・助言を受けながら、児童が主体的に動物の生態や生存環境等について調査研究したり学校における飼育動物の世話や病気の処置等を行ったりする。

#### (3) 「学校における望ましい動物飼育のあり方」に関する研修会

- 平成16年度、県獣医師会主催、県教育委員会共催として開催
- 県内の教員、市町村教育委員会関係者、獣医師等が一堂に集まる研修会として実施（約250名参加）。
- 主な研修内容
  - ・講話1「学校教育と体験学習」  
講師 文部科学省初等中等局教育課程課教科調査官 日置 光久
  - ・講話2「命の実感を与え、豊かな感性を培う飼育に」  
講師 お茶の水女子大学こども発育教育研究センター客員研究員  
学校飼育動物研究会代表発起人 中川 美穂子

#### (4) 「学校における望ましい動物飼育」に関する研修

- 平成17～19年度、県内の6教育事務所や市町村教育委員会、各地区生活科学研究協議会等が主催する研修として、県獣医師会へ講師派遣を依頼して開催。
- 対象者は、校内で動物飼育に関わる教職員（教頭、教務主任、保健主事等）や学習指導で小動物と関わる生活科学学習担当教員等。
- 主な研修内容
  - ・学校教育における動物飼育の意義及びねらい
  - ・学校教育における小動物飼育を通した「命の教育」及び「豊かな心を育む教育の在り方」の具体化
  - ・学校における小動物の適切な飼育方法と傷疾病等への対応の在り方 等

### 2 連携事業等の成果

- 各学校において、児童が獣医師から専門的な説明や指導を受けることをとおして、低学年児童の生活科学習や高学年児童の委員会活動等における飼育活動が充実した。
- 教員対象の研修等をおして、各学校の小動物の過剰繁殖防止や飼育舎の衛生向上等について専門家としての指導・助言をいただき、効果的であった。

### 3 今後の取り組み

学校の飼育舎等の衛生向上や学校環境の清潔等を保つ上でも、獣医師会の支援は必要である。今後とも福岡県獣医師会と連携し、各教育事務所等における動物飼育に係る研修の充実を図ることを目的として地域の獣医師の協力を受けて研修会を実施するほか、学校への指導や相談への対応等に関する協力体制を充実することを検討している。

## 平成20年度 東京都獣医師会 支部学校飼育動物関連事業一覧(平成20年12月16日現在)

\*「事業内容」の記号は、下記の事項に該当する

ア) 学校への「飼育に関する相談窓口」設置(飼育や保健衛生他) イ) 学校飼育動物の無料・実費診療 ウ) 全対象施設への定期的な訪問活動  
 エ) 希望施設への訪問活動 オ) 学校飼育動物を活用した事業への協力 カ) 学校の動物使用「動物ふれあい教室」に協力 キ) 学校の動物飼育に関する教員研修会に協力 ク) 学校飼育動物に関する獣医師向け研修会 ケ) 学校飼育動物に関する調査  
 コ) その他( )

支部名	地域	担当者名	行政との事業名 (書類での契約があるばあいは、事業名の頭に○をつけてください)	契約 年度	支援・事業内 容	対象 施設 数	行政からの 交付金額	参加人数/ 全会員(内 開業数)	行政の窓口		
中央	港区	喜多見賢二			ク カ			3/38(21)			
	中央区										
	千代田区										
文京	文京区	伊東信夫 安東治邦 伊藤弘一 印牧 暁	なし		イキ						
新宿	新宿区	中村泰治	ペットなんでも相談		ア				健康部衛生課		
中野		西島和夫 佐藤至 鴻 尚義	なし		アイエオカキ	27		0/17/23(17)	教育委員会		
杉並	杉並区	林 光、伊藤 正、小作 寛、 妻井雅美 小林豊和、時松 隆	○杉並区立学校における動物飼育支援 活動に関する協定書	H20	アイウエオカ	72	500000	32/46(40)	教育委員会		
			○杉並区立(園)における動物飼育支援 活動に関する委託契約								
			学校動物飼育に関わる研修会	H13	キ		40000	1~2名	教育委員会		
			○指導パンフレット編集	H1	コ 小5向け 年8000冊発行	72	100000	5名	保健所		
		杉並区立第十小学校 生活体験学校	H20	エ		1	不明	1名	教育委員会		
世田谷	世田谷区	紺谷 学(2月1日まで)	動物愛護普及事業	H5	イ	81	500000	60/60 (60)	保健所		
渋谷	渋谷区	浜木麻衣	○渋谷区学校飼育動物事業	H10	アウエオキケ	27	1200000	14/15(13)	教育委員会		
目黒	目黒区	斎藤真樹 前川昌一郎 柳沢知 己 滋賀大輔	なし		イキ			3/30	教育委員会		
大田	大田区	田向 健一			ア エ						
品川	品川区	全会員	○学校飼育動物支援活動に関する協定	H19	アイエキケカク	40	診療毎に 実費支給	20/20	教育委員会		
江東	江東区	西野 朗	なし		アイエケ	63	なし	5/18(16)			
墨田	墨田区	赤崎敏江			ア			1/18(18)	各小学校区役所		
城北	荒川区	水野 信保	なし		アイエ	23 15園	なし	7/7(7)	各小学校・園		
	台東区	松本 孝子 鈴木敬一	なし		アイエオ	20 22 園	なし	8/8(8)	保健所		
葛飾	葛飾区	仲野友秀、宮田勝重、高橋大 記、井上正亮			アイエキ	49		4/16(16)	教育委員会学 務課		
江戸川	江戸川区	山本純委員長 長嶋正和 赤塚正明 桜井富士朗	○学校飼育動物ボランティア診療	S63	イエカキ	106 57園	400000	23/23(23)	教育委員会保 育課		
足立	足立区	なし			ア イ	なし	なし	28/28(27)	保健所		
北	北区	富澤伸行 白田知弘			相談に応じる				教育委員会		
豊島	豊島区	高橋利廣 三科 保 藤村 環			イエカ			2~4/22(19)			
板橋	板橋区	藤掛誠 米澤寛 佐野彰彦 前澤純也	○区立小学校および幼稚園の飼育動 物の治療および飼育指導委託(年間契 約)	H20	アイエキ	53	550000	20/22(22)	教育委員会		
練馬	練馬区	吉田恒雄 林典子 黒田佳之 上田八千代 林 健一 小松隆志 風祭泰一 日比野孝	小動物飼育に関する研修会	H12	アエオカキ	69 5園	43200	46/46(46)	教育委員会		
			獣医師による学校訪問	H17	アエオカキ		180000	同上	同上		
					アエオカキ						各小学校幼稚園
			学校飼育動物に関するアンケート		ケ				同上	各小学校 幼稚 園	
武蔵野 三鷹	武蔵野市	全支部員21名	○学校飼育動物指導等委託契約	H15	アイウエオカ キケ コ(埋 葬)	12 1園	748125	21/21(21)	教育委員会		
	三鷹市		なし								
北多摩	西東京市	中川美穂子、渡辺守都 桜井秀男	○西東京市立小学校の動物飼育に関 わる動物診療及び飼育指導委託契約	H3	アイウエオカ	19	1080000	13/14(14)	教育委員会 学務課		
	小平市	小谷安弘 三田 晃	○小平市立小学校の動物飼育にかか わる動物愛護及び指導委託契約	H5	アイウエオカ	19	300000	12/12(12)	教育委員会学 務課		
	東村山市	浜田正人 竹田、山内、岡田、 島中	小学校への飼育指導 北山小、青葉小、		アイエ	15 1園	なし	5/5(5)	各小学校		
	東久留 米市	磯部芳郎 風間隆 関根勝利 田中直久 遠矢東五 山村純 一	○東久留米市立小学校・幼稚園飼育動 物診療及び学校飼育動物管理に関する 学校獣医師巡回指導委託契約	H4	アイウキエ	26	診療 3000/回、 訪問指導 6000円/ 回)	6/6(6)	教育委員会		
	清瀬市	柳原義介	○学校動物飼育指導飼育動物診療等 委託契約書	H12	アイウ	9	54000	1/1(1)	教育委員会		
小金井市	益田 矩之				イ	8	治療実費	6/49(41)	教育委員会		

「事業内容」の記号は、下記の事項に該当する

- ア) 学校への「飼育に関する相談窓口」設置(飼育や保健衛生他) イ) 学校飼育動物の無料・実費診療 ウ) 全対象施設への定期的な訪問活動  
 エ) 希望施設への訪問活動 オ) 学校飼育動物を活用した事業への協力 カ) 学校の動物使用「動物ふれあい教室」に協力 キ) 学校の動物飼育に関する教員研修会に協力 ク) 学校飼育動物に関する獣医師向け研修会 ケ) 学校飼育動物に関する調査  
 コ) その他( )

支部名	地域	担当者名	行政との事業名 (書類での契約があるばあい、事業名の頭に○をつけてください)	契約年度	支援・事業内容	対象施設数	行政からの 交付金額	参加人数/ 全会員(内 開業数)	行政の窓口
府中	(私立)	益田 矩之	○学校園動物飼育教育支援事業	H18	アイカ	1	70000		学芸大学附属 小金井小学校・ 幼稚園
	府中	門屋 美知代			イ	22	実費	3/49(41)	
	狛江	川島 治			イ	10	実費	3/49(41)	教育委員会
	調布	池田 慎治	○学校飼育動物に関関わる診療基準		イ	20	2000~ 10000/1回	5/49(41)	教育委員会
	国分寺	関谷 裕彦			イ	10		3/49(41)	各小学校飼育 管理担当者
南多摩	全体	南多摩支部学校動物野生動物委員会がある。(各地区にはそれぞれ部会長(代表)がいる。現在部会長の下で事業が展開されている) 委員長 大窪武彦 委員 池田 純 浦崎俊博 佐藤秀文 野中 哲							
	日野市	池田 純(日野部会長) 浦崎俊博 岸野弘 熊井治孝 桑原 章 佐々木泰造 須田冲夫 野田武人 野中哲 渡邊建	○学校飼育動物検査業務委託	H12	アイウエケコ	22	492030	10/10(19)	教育委員会 学校課
	多摩市	渡辺 一博(多摩部会長) 大窪武彦 佐藤秀文 松本広和 宮川秋信							
	稲城市	野坂 宏(稲城部会長) 小松泰史 進藤直樹 中井千恵	○稲城市立小学校飼育動物にかかる健康管理指導委託	H19	アイウエケキケ	11	335000	4/19(19)	教育委員会
八王子	八王子市	山本博史 保坂創史 黒田昌幸	○八王子市立小学校飼育動物の治療等の事業	H4	ア、イエキ	70	加算基準に 基づいて	20/20(20)	学校教育部 施設整備課
町田	町田市	西田聡美 林律子	○小動物健康管理委託	H16	アイウキケ	40	960000	22/22(22)	教育委員会 学務課
多摩西	国立	八巻 敦美			なし				
	立川	土方淳子			なし				
	東大和	向平秀人			なし				
	武蔵村山	櫻井圭三			なし				
	昭島	植松一良			なし				
	福生市	野村 治			なし				
	あきる野	榮山 信一			なし				
	青梅	長崎幸司			なし				
	瑞穂	木下邦彦			なし				
	奥多摩町	町田晴市			なし				
	日出町	石田 陽			なし				
	桧原村	石井 悟			なし				
	中央支部 練馬	八丈島町	奥山幸子			アイ	1		1/1(1)
大島町		橋本 栄光			アイ	4		1/1(1)	各小学校 校長
新島村		瀧口聖			アイエ	2		1/1(1)	小学校
小笠原村		浅沼博文			アイ	2		1/1(1)	小学校教諭

## 岐阜県における学校飼育動物委託事業

委託者	業務名称	委託料	業務場所	備考
岐阜市	学校飼育動物サポート事業業務委託	819,000円(消費税及び地方消費税含む)	小学校・幼稚園45校(園)柳津町合併	H11.7~
山県市	小学校飼育動物サポート事業委託業務	189,000円(消費税及び地方消費税9,000円含む)	小学校6校	H14.4~(高富町)
各務原市	学校飼育動物サポート事業業務委託	472,500円(消費税及び地方消費税22,500円含む)	小学校15校	H15.3~(川島町)
本巣市	各小学校飼育動物サポート事業委託単価契約書	240,000円(消費税及び地方消費税含む)	小学校8校	H19.1~
本巣市	各園飼育動物サポート事業委託単価契約書	120,000円(消費税及び地方消費税含む)	幼稚(児)園3園・子どもセンター1	
笠松町	学校飼育動物愛護・管理指導委託	94,500円(消費税及び地方消費税4,500円含む)	小学校3校	H15.3~
瑞穂市	小学校・幼稚園飼育動物サポート業務委託	220,500円(消費税及び地方消費税10,500円含む)	小学校6校 幼稚園1園	H22.4~
岐阜大学	学校飼育動物サポート事業業務委託	31,500円(消費税及び地方消費税1,500円含む)	岐阜大学教育学部附属小学校	H20.6~
大垣市	学校飼育動物愛護・管理指導委託	300,000円(消費税及び地方消費税含む)	小学校13校・幼稚園17園	H12.9~
揖斐川町	学校飼育動物飼育環境等指導事業	80,000円(消費税及び地方消費税含む)	小学校4校	H10.4~
神戸町	学校飼育動物愛護・管理指導委託	63,000円(消費税及び地方消費税3,000円含む)	小学校・幼稚園・幼児園(3)	H14.4~
池田町	学校飼育動物愛護・管理指導委託	20,000円(消費税及び地方消費税含む)	組合立養基小学校	池田町契約別(H18~)
八百津町	学校飼育動物サポート事業	63,000円(消費税及び地方消費税3,000円含む)	小学校3校	H11.6~
美濃市	学校飼育動物飼育環境等指導委託事業	84,000円(消費税及び地方消費税4,000円含む)	小学校4校	H11.4~
関市	学校飼育動物サポート事業	357,000円(消費税及び地方消費税17,000円含む)	小学校17校	H11.9~(武芸川町)
坂祝町	坂祝小学校飼育動物サポート事業委託業務	21,000円(消費税及び地方消費税1,000円含む)	町立坂祝小学校	H11.4~
坂祝町	坂祝幼稚園飼育動物サポート事業委託業務	21,000円(消費税及び地方消費税1,000円含む)	町立坂祝幼稚園	H11.4~
川辺町	学校飼育動物サポート事業	63,000円(消費税及び地方消費税3,000円含む)	小学校3校	H11.7~
美濃加茂	学校飼育動物サポート事業委	168,000円(消費税及び地方消費税8,	市内各小学校(三	H9.6

市	託業務	000円含む)	和小除く)	～
可児市	各小学校・幼稚園・保育園飼育動物サポート事業	210,000円(消費税及び地方消費税10,000円含む)	小学校6校 市立幼稚園1園 保育園3園	H16.4～
中津川市	小動物ふれあい環境指導委託業務	300,000円(消費税及び地方消費税含む)	小学校 8校	H10.6～
土岐市	小動物ふれあい環境指導委託業務	99,000円(消費税及び地方消費税含む)	小学校 9校(附属幼稚園7園含む)	H16.6～
飛騨市	学校飼育動物サポート事業(予定)	20,000円(消費税及び地方消費税含む)	小学校 2校	H17.4～
下呂市	学校等飼育動物の管理指導業務委託(予定)	120,000円(消費税及び地方消費税含む)	小学校及び保育園 12校(園)	H20～
高山市	学校飼育動物巡回指導(飛騨支部契約)	260,000円(謝礼)	小学校10校 保育園 5園	H11.4～

● 業務委託内容

- (1) 学校飼育動物の現状調査と飼育施設の適性管理指導
- (2) 動物の飼育指導及び保健衛生指導
- (3) 飼育動物の健康診断
- (4) 家畜伝染病予防法にもとづく予防接種(鶏類に対するニューカッスル病ワクチン接種)
- (5) 人畜共通感染症予防指導(0-157(ウサギ), サルモネラ(鶏) 糞便検査)
- (6) 児童や教職員を対象にした講習会の開催
- (7) 砂場の虫卵検査, 大腸菌群まで検査

● 最近の傾向

平成21年度から教育関係者, 獣医師, 獣医・教育大学生が参加し「ぎふ学校飼育動物の会」が発足し, 「教育効果の向上」に関して交流していく。

## 学校にかかわる時の留意点（「学校獣医師の役割と診療」より）

### （1）学校訪問について

地域により地理的な困難もみられるが、学校の最寄りの会員の動物病院が学校をケアする制度にする。飼育環境が改善できれば問題点は減少していくので、飼育環境や飼育活動の教育活用についてお互いの理解のため、学校を訪問し交流するが、往復を交えて1時間程度で終わるようにして、屋間の往診時間内に済ませるようにするのが理想。

#### 1) 話あう相手

校長先生に必ず挨拶して、校長室に座ってお茶をご馳走になりながら、雑談の中で飼育に関して話し合う。校長先生は対外的にいつも礼儀を守る立場であるので、スーツ姿でおられる。獣医師も必ず清潔でしわのない白衣を着て訪問することが大事である。あるいはスーツに身を固め、動物に対応するときは白衣を着ること。

校長先生と挨拶してから、多くの場合校長室で校長先生や教頭先生とともに飼育担当の教師と話しあい、質問などを受ける。

これにより、担当教師が交代しても、校長で話がつながり、校長が転勤しても教員と話しが繋がっていく。結局、地域獣医師が長く学校を見守ることになる。

なお、校長や教員は大体長くて5年で移動するが、移転先でまた飼育への獣医師の支援を広げることが期待する。

#### 2) 話の方向

獣医師が学校の飼育の悪い点を指摘したまま終わるのは、無責任であり、学校からの信頼を得ることはできない。改善が難しいときは、学校と一緒に悩んで少しでも良い方法を考える立場、学校に寄り添う立場ということが大事である。

#### 3) 学校との話し方

動物について系統的には授業を受けていない教師が今まで苦勞してきたことを尊重して話あう。改善方法を提示しても、実現するかどうかは校長の考えと予算によるので、支援するにとどめる。

#### （2）学校に理解してもらいたいポイント

飼育の意義を確認しないと、学校は動物に手間をかけることができない。だから飼育の意義を雑談の中でしめして飼育活動を大事にするように誘うため、情報を得て良い飼育事例などを紹介する。

#### 1) 学校での動物飼育の目的（教育的意義）

①継続飼育によって、動物を可愛いと思って初めて心への効果や計画性など教育的効果が得られるので、負担の重すぎる飼育活動はさける。チャボとウサギを少数ずつ、丁寧に死ぬまで飼わせる。「掃除はすぐに終わって、たっぷりのふれ合いの飼育」を実現するように獣医師が助言と支援をする。（継続飼育は08年新学習指導要領に明記され、地域の獣医師との連携は解説書に明記された）

②一時的な接触は、動物への入口だが、一時的な効果に終わる。

緊張を緩める・・・癒し、人間関係改善 男女コミュニケーション訓練

③接し方が、子どもの心の状態の指標になる

動物に辛く当たる子は、自身がストレスを受けているか、動物への感性が未熟か、脳の障害が推測されるため、いずれにせよ親を含めてケアをする必要がある。特に5,6歳から発現する脳の病気（行為障害）の発見に役立つ指標となる。

# 「動物ふれあい教室」事業 業務結果報告書

立

幼稚園長・保育園長・保育所長様

下記のとおり平成 年 月 日の業務結果を報告します。

動物病院名	担当獣医師名	印
	同行獣医師名	

【業務内容】（獣医師記入欄）  
ふれあい教室     訪問指導

対 象	年少・年中・年長・その他（ ）	実施クラス数	人 数	名

動物なんでも相談（来院・電話・ファックス）添付資料（有・無）

(内 容)
(対 応)

診察（来院・訪問）     健康診断

動物種	ウサギ・ニワトリ・その他（ ）	担当職員名	
診断名		内・外・皮・その他（ ）	軽度・中度・重度
検 査	血液・糞便・尿・レントゲン・その他（ ）	治療期間	月 日～ 月 日

【感想・要望等】（幼稚園・保育園・保育所記入欄）


上記の業務内容について確認しました。

平成 年 月 日

立

幼稚園長  
 保育園長  
 保育所

印

# 「動物ふれあい教室」事業 業務結果報告書

立

小学校長様

下記のとおり平成 年 月 日の業務結果を報告します。

動物病院名	担当獣医師名	印
	同行獣医師名	

## 【業務内容】（獣医師記入欄）

ふれあい教室      訪問指導

対象	( )年生・飼育委員会・その他( )	実施クラス数	人数	名

動物なんでも相談（来院・電話・ファックス）添付資料（有・無）

(内容)
(対応)

診察（来院・訪問）      健康診断

動物種	ウサギ・ニワトリ・その他( )	担当職員名	
診断名		内・外・皮・その他( )	軽度・中度・重度
検査	血液・糞便・尿・レントゲン・その他( )	治療期間	月 日～ 月 日

## 【感想・要望等】（学校記入欄）


上記の業務内容について確認しました。

平成 年 月 日

立

小学校長

印



学校等からの相談受付書式

## ( )市学校飼育動物診療・指導記録

( )市立小学校飼育動物診療及び飼育指導委託契約に基づく

依頼日	年 月 日		
業務種別	1. 診療(来院、往診、その他) ) 2. 相談(来院、電話、FAX、Eメール、その他) ) 3. 訪問指導( ) 4. その他( )		
学校名	西東京市立 小学校		
依頼者名		責任者名	
動物種	1. ウサギ 2. ニワトリ 3. その他( )		
性別及び個体数	♂ 頭(羽、匹)	♀ 頭(羽、匹)	性別不明 頭(羽、匹)
呼び名又は特徴			
症状又は依頼内容	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
治療又は対応	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
備考	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		

病院名

住所

電話

担当獣医師名

印

市獣医師会

## 学校飼育動物サポート記録

平成 年 月 日		担当獣医師				
学校・園名		校長・園長				
住所		Tel				
担当教諭		担当学年	年	人	Fax	
動物の種類		数	♂	♀	合計	
					同居動物	あり ( )
施設	大きさ	適当 (良・可) 要改善			コメント:  前年同様	
	躯体材質	木造 鉄筋 その他 ( ) 適当 (良・可) 要改善				
	床材質	土 コンクリート 木 その他 ( ) 適当 (良・可) 要改善				
	前面材質	金網 板張り その他 ( ) 適当 (良・可) 要改善				
	側面材質	金網 板張り その他 ( ) 適当 (良・可) 要改善				
	後面材質 屋根材質	金網 板張り その他 ( ) 適当 (良・可) 要改善 トタン スレート その他 ( ) 適当 (良・可) 要改善				
環境	方向	東 西 南 北		適当 (良・可) 要改善		
	通風			適当 (良・可) 要改善		
	日当たり			適当 (良・可) 要改善		
	床	汚れ		適当 (良・可) 要改善		
	水道	近くにある 離れたところにある				
飼養管理	餌	市販食 ( ) 持参食 ( ) 残飯 ( ) その他 ( )		適当 (良・可) 要改善		
		回数 回 決めてない 当番制 決めてない		適当 (良・可) 要改善		
	床敷き物	わら 新聞紙 その他 ( ) 特になし		適当 (良・可) 要改善		
	給水	ある なし		適当 (良・可) 要改善		
	休日の管理	当番制 なし その他 ( )		適当 (良・可) 要改善		
記憶管理	ある なし		適当 (良・可) 要改善			
衛生管理	清掃	毎日 回 日に1回		適当 (良・可) 要改善		
	臭い			適当 (良・可) 要改善		
	栄養状態	全体的に良い 悪い 不揃い		適当 (良・可) 要改善		
	健康状態	全体的に良い 悪い 不揃い 外傷 下痢 その他 ( )		適当 (良・可) 要改善		
実施事項	〇-157検査	ウサギ	羽	その他 ( )	結果 (+ - )	
	サルモネラ菌検査	ニワトリ	羽	その他 ( )	結果 (+ - )	
	ニューカッスル病予防接種	ニワトリ	羽	その他 ( )	合計	
	虫卵検査	ウサギ	羽	ニワトリ 羽	結果 (+ - )	

\*可:現状でもかまわないが、改善することが望ましい。

健康診断（異常個体）チェック

学校・園名

動物種	個体・群				
1) 全身状態	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
元気	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
食欲	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
栄養状態	<input type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 不良			
2) 皮膚状態	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常	鶏冠	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常
外傷	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	爪	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常
皮膚病変	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	外耳炎	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
外部寄生虫	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
3) 鼻・呼吸器系	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
呼吸状態	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
鼻汁・くしゃみ	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
4) 循環器系	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
聴診	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
5) 眼	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
流涙	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
眼脂	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
6) 消化器系	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
流涎	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
下痢	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
嘔吐	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
不正交合	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	嘴	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常
7) 泌尿生殖器系	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
尿	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
陰部・総排泄肛の汚れ	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
8) 神経系	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
歩様異常	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
斜頸	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
9) 筋骨格	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			
骨折	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
跛行	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし			
10) リンパ節	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 異常			

\*気づいた点は余白に記入

## 学校飼育動物 相談・治療・講演 依頼書

相談 治療 講演 巡回指導 年 月 日 ( )

施設名		指 導 欄
担当教師	㊟	ご依頼のあった (診察・講演・巡回指導) の結果次のようにお知らせします。
動物の種類		
相談内容		
獣 医 師 記 入 欄	現 症	飼養状況
	処 置	飼育設備
	診 断	衛生管理
		その他
		年 月 日 ( )
		獣 医 師
		㊟

平成 年 月 日

## 報 告 書

学校名・園名			担当教諭		
飼育動物種			羽(匹)	♂	♀
飼育管理状況	施設	適正 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 前年同様 <input type="checkbox"/>	コメント:		
	環境	適正 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 前年同様 <input type="checkbox"/>			
	飼養	適正 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 前年同様 <input type="checkbox"/>			
衛生管理状況	清掃	適正 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 前年同様 <input type="checkbox"/>	コメント:		
	糞尿	適正 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 前年同様 <input type="checkbox"/>			
健康状態	栄養状態	良好 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/>	コメント:		
	健康状態	良好 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/>			
要望事項					
申し送り事項					

担当獣医師

## 平成22年度 学校飼育動物診療依頼書

施設名：	所在地：
校（園）長名： <span style="float: right;">印</span>	飼育責任者：
診療依頼者名：	
TEL：	FAX：

次の動物の診療をお願いします。

平成    年    月    日

動物種：	呼び名：
オス・メス・不明・（去勢・避妊）済	生年月日：H    年    月    日生    才位
飼育環境：    個体    ペア    同種群    異種群    その他	
他に飼育している動物：	
掃除の回数：    毎日    毎週    毎月（    ）回	
食事の内容： 野菜（    ） 穀物（    ） 肉類（    ） ペレット（    ） その他（    ）	
食事の回数：（    ）日（    ）回	
症状：	

担当獣医師記入欄

診療月日：    月    日 ~    月    日（    ）回・入院（    ）日	
病名：	診療費合計：
治療：	
飼育指導：	

担当獣医師名

平成22年度  
学校飼育動物診療報告書

動物病院名：	獣医師名： 印
住所：	
TEL：、	FAX：

次の動物を診療したので報告します。

平成 年 月 日

施設名（学番）： ( )	所在地：
動物種：	呼び名：
オス・メス・不明・（去勢・避妊）済	生年月日：H 年 月 日生 才位
診療月日： 月 日 ~ 月 日 ( ) 回・入院 ( ) 日	
症状：	
現症：	
病名：	診療費合計：
治療：	
症状：	

学校（園）記入欄

感想・要望等
--------

飼育責任者名

平成22年度  
学校飼育動物健康診断依頼書

施設名：	所在地：
校（園）長名：	印 飼育責任者：
診療依頼者名：	
TEL：	FAX：

次の動物の健康診断をお願いします。

平成 年 月 日

動物種	雄雌・避妊去勢済・不明	頭羽数	備 考
質問事項			

担当獣医師記入欄

健康診断日： 月 日 時 ~ 時
健康診断
飼育指導

担当獣医師名 \_\_\_\_\_



平成22年度  
学校飼育動物健康診断報告書

動物病院名：	獣医師名：	印
住所：		
TEL：	FAX：	

次の動物の健康診断を報告します。

平成 年 月 日

施設名（学番）：		（ ）	診察日：		月	日
動物種	雄雌・避妊去勢済・不明	頭羽数	備 考			
現症：						
飼育指導：						

学校（園）記入欄

感想・要望等

飼育責任者名 \_\_\_\_\_





## 学校飼育動物に関する支援状況報告

報告年月日 年 月 日

実施年月日	年 月 日	報告者	住所（市町名） または所属名 氏 名	
対象学校等	所在地市町村名			
	学校等の名称			
対象の動物等と頭数（治療の場合はその頭数 治療以外の場合は飼育頭数）				
診 療 以 外 の 内 容	<input type="checkbox"/> 飼育相談・指導 <input type="checkbox"/> ふれあいのアドバイス <input type="checkbox"/> 人の衛生指導 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業、講演、ワークショップなど） <input type="checkbox"/> 学校等との推進協議			
	該当する項目に○印を付けてください。			
	対象者（児童等.....名    教職員.....名    保護者.....名） 主な内容（資料等を用いた場合はなるべく添付して下さい）			
診 療 ・ 治 療 の 内 容	診療、治療の概要（傷病名または異常の状況および主な処置）			
	同一傷病治療の.....回目			
	治療費について （該当欄に○印）	全額受領	一部受領（薬剤等実費のみ） （正規の.....%）	全額徴収なし
	十分な診療に必要と思われる治療費（技術料含む）.....円程度			
診療して必要性を感じた事柄				

当会が主催のものおよび事務局員が同席したものについては、事務局で記録します。

## 学校飼育動物相談記録用紙

相談受付獣医師名			
小学校名		相談日	年 月 日
住所			
電話番号			
相談者氏名		役職名	
相談方法	電話・訪問・来院(先生, 児童 名)		
相談内容 (診療を行った場合はその内容もお願いします)			
考えられる問題点 <input type="checkbox"/> 飼育舎 <input type="checkbox"/> 餌 <input type="checkbox"/> 多頭飼育 <input type="checkbox"/> 多種動物混合飼育 <input type="checkbox"/> 避妊対策 <input type="checkbox"/> 健康状態 <input type="checkbox"/> 衛生状態 <input type="checkbox"/> その他		コメント	

## 教員向け講演の内容と留意点

## (1) 獣医師の学校への助言の内容

獣医師にできるのは、管理方法を伝え、または指導することであって、管理することではない。

## 1) 学校に飼育の意義を伝える

- \* 必要性：欠くべからざる体験学習のひとつ
- \* 情を通じる飼育でこそ、動物は子どもの成長に役立つ

## 2) 教師を助ける

- \* 飼育法を理解していない教師を日常的に支え、なにかあったら相談に乗る。
- \* 学校の事情を見ながら、その場での楽な飼育法と一緒に考え工夫してもらう。
- \* 望ましい飼育法を伝える。
- \* 診療など、学校が困っていることに相談に乗る。

## 3) 子どもへの語りかけ

- \* 専門家の言葉は、重く広がりがある。
- \* 子どもの知識欲や心の成長への刺激となる。  
(文献を調べて全ての事実を教えることは求められてない)
- \* 子どもが動物の健康を気にしているので、健康診断を行う。

## (2) 教員向け講習会について

## 1) 講習会の意義

教育委員会が話し合いの段階、あるいは学校のアンケートが出た段階で、教師向けの講習会を依頼してくることも多い。これはお互い協力するためには共通の理解、認識を得ておく事が重要なので、引き受けたい。なお、これを獣医師会の予算で行うことを要求する自治体が多い。獣医師会主催で各地で行われる先進地域の指導者による動物介在教育の講習会に、地域の教育委員会が参加されるとその後、その地域の獣医師会への信頼が増し、この事業がやりやすくなる場所が多く見られている。それで、県内の連携地域を広げるため毎年文部科学省の指導陣の協力を得て講習会を繰り返すところが多い。

## 2) 講習会の話のポイント

動物の子どもたちへの意義を中心に、衛生上の改善点などを含めて、子どもに安全に可愛がらせる方法を理解してもらうようにIの内容について解説していく。

内容が獣医師の得意分野である、いわゆる「理想的な飼育法や病気」のことに偏ると、教師は飼育する意義や必要性がわからないことが多いため、飼育しないなら受講する必要もないと思い、参加者が減少する傾向がある。結果、動物の飼育は大事にされずに、子どもへの教育効果も少ないままである。

教師は、本来まじめで子ども好き、教育のために日々努力している存在である。講習会には教育的な成果を具体例として示す必要がある。普段の学校との付き合いの中から、順調に飼育教育がなされている学校の教諭に実践報告をしてもらうと、効果的である。

### 3) 日程等の決定

まず教育委員会と計画の遂行について相談し、内容とともに日程もお任せするのがよい。それにより教員が出やすい日と時間を設定する。それは獣医師にとって都合の悪い時間でもあるが、教師に聞かせるためには必要である。多くは週日の水、木、金曜日の午後3時から1時間半くらいが見られている。

また市町村教育委員会が関われば教員の動員にもかかわるだろう。県教育委員会の場合は学校を持っていないので、動員をかけるわけにはいかないが、県内の教育センターに案内してもらい、そこから小学校に案内してもらうルートもある。

しかし、教育委員会が後援しても教員動員に関わらない場合が多く、最初の講習会に教員が集まらないのは仕方がないところがあるので落胆しないで欲しい。教育大学に講習会の説明しにいき、チラシを配布し、また校長先生方の研究会である生活科研究会、特別活動研究会、理科研究会などの会長を紹介していただきそれぞれに説明してチラシ配布をお願いすることも一定の効果がある。しかし一番有効な手段は、普段から学校とつながりのある獣医師が、その学校に案内に行くことだろう。

## 「学校における望ましい動物飼育のあり方」に関する研修会実施要項

## 1 目的

学校における小動物の飼育及び学習中の小動物の取扱い、小動物を取り巻く環境等の現状をふまえ、学校の小動物の健全な飼育の条件整備や病気への対応等に関する共通理解を通して、学校教育における望ましい動物飼育を推進するとともに、命ある生き物に対する豊かな心を育む教育の推進に資する。

## 2 主催

社団法人 福岡県獣医師会

## 3 共催

福岡県教育委員会

## 4 期日

平成16年8月25日(水)

## 5 会場

福岡リーセントホテル 2階 レインボーホール

福岡市東区箱崎2-52-1 電話 092(641)7741

※会場の駐車場には限りがあるので、公共交通機関を利用すること。

## 6 対象者

小動物の飼育等担当者、理科、生活科、総合的な学習の時間担当者及び校長、教頭  
市町村教育委員会担当者等

## 7 日程及び内容

日 程	内 容
12:30	受 付
13:00	開会行事
13:10	講 話1 「学校教育と体験学習」 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 日 置 光 久
14:10	休 息
14:30	講 話2 「命の実感を与え、豊かな感性を培う飼育に」 お茶の水女子大学こども発育教育研究センター客員研究員 学校飼育動物研究会代表発起人 中 川 美穂子
15:50	閉会行事
16:00	



## 福岡県獣医師会との協議内容について（報告）

- 1 日時 平成16年12月20日（月） 16:30～17:30
- 2 場所 福岡県獣医師会事務局
- 3 参加者 竹田福岡県獣医師会事務局長、處学校飼育動物委員会委員長、  
最所筑豊家畜保健衛生所長、川島
- 4 協議題 「学校における望ましい動物飼育のあり方」に関する研修会の  
今後の在り方について
- 5 内容
- 1 義務教育課の方針説明
    - ・別紙参照
  - 2 県獣医師会（学校飼育動物委員会）としての検討内容
    - ・先の研修会の成果と反響を考慮し、県獣医師会としても各学校の実情に応じた対応を今後行う。
    - ・県教委の実施方針を尊重し、予算を確保した上で獣医師の講師としての派遣を実施できるよう努力する。
    - ・相談窓口獣医師名簿上の獣医師は、全員が協力できない場合があるので、研修会の講師として依頼する場合は事務局に連絡し、事務局で人選する。（専門委員が妥当とのこと）
  - 3 確認事項
    - ・獣医師は4月から6月までは、業務の関係で講師を受けにくいいため、7月以後が望ましい。例えば7月上・中旬や夏休みの早期または、2学期から3学期。
    - ・義務教育課が実施する初任研や各教育事務所での研修会、地教委で実施する研修会の計画を5月中旬くらいまでに獣医師会にも事前に連絡してほしい。県獣医師会としての派遣体制や地区獣医師への連絡等を行いたい。また、マニュアル等を用意できれば、県の獣医師会としても作成する方向で検討したい。
  - 4 実績の集約について
    - ・義務教育課、各事務所、地教委等で実施した研修会の簡単な評価をそれぞれで行い、今後のために蓄積していく。

## 「学校における望ましい動物飼育のあり方」に関する研修会の今後の在り方について

義務教育課

各学校における学校飼育動物の飼育状況及び本研修会の趣旨をふまえ、今後の本研修会については、次のような実施の在り方が考えられる。

### 1 研修会の目的

学校における小動物の飼育及び学習中の小動物の取扱い、小動物を取り巻く環境等の現状をふまえ、学校の小動物の健全な飼育の条件整備や病気への対応等に関する共通理解を通して、学校教育における望ましい動物飼育を推進するとともに、命ある生き物に対する豊かな心を育む教育の推進に資する。

### 2 研修内容

- ・学校教育における動物飼育の意義及びねらい
- ・学校における小動物等の飼育を通じた「命の教育」及び「豊かな心を育む教育の在り方」の具体化
- ・学校における小動物の適切な飼育方法と傷疾病等への対応の在り方 等

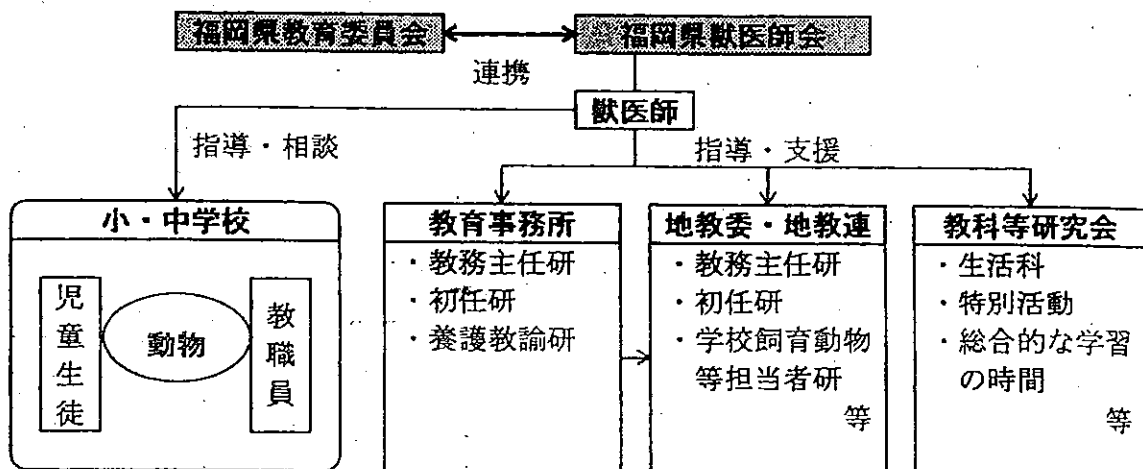
### 3 研修方法等

- 各教育事務所、市町村、地教連等が計画して実施する以下の研修会等の実施
  - ・初任者研修、教務主任研修
- 地教委・地教連等の長期休業期間等における動物飼育担当教員等を対象とした研修会の実施
  - ・学校飼育動物等担当教員研修会
- 生活科、理科、総合的な学習の時間等の教科等研に係る研修会の実施 等

### 4 研修会実施の手順

- (1) 教育事務所で実施する研修計画への動物飼育に関する研修会の位置づけ
- (2) 「学校飼育動物等担当者研修会」開催についての地教委・地教連への働きかけ
- (3) 研修会等の決定に伴う獣医師との連絡・調整
- (4) 研修会等の期日・内容等の決定、研修計画への位置づけ

### 5 福岡県獣医師会及び獣医師との連携の在り方に関するイメージ図



福岡県獣医師会との連携事業  
「学校における望ましい動物飼育に関する研修」実績

※平成19年12月28日現在

	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	研修会名等	対象者等	研修会名等	対象者等	研修会名等	対象者等
福岡	第2回小・中学校教頭研修会 8月8日(月) 福岡教育事務所	小・中学校教頭 (200名)	糸島地区教科等研究会「生活科・総合部会」 9月13日(水) 志摩町立可也小	小学校校長・教頭・教諭 (22名)	糟屋地区教科等研究会「生活科・総合部会」 8月28日(火) サンレイクかすや	小学校教員 (20名)
北九州	遠賀郡小学校教頭研修会 9月5日(月) 水巻町	小学校教頭等 (16名)	直方市小学校教頭会研修会 11月21日(火) 直方市立上頓野小	小学校教頭 (9名)	中間市小学校教頭研修会 2月13日(水) 予定	小学校教頭 (6名)
	鞍手郡教育研究所生活科部会 8月26日(金) 小竹町	小学校教員 (15名)				
北筑後	学校飼育動物研修会 8月22日(月) 小郡市立三国小	小学校教員等 (15名)	第1回新任教務主任研修会 5月12日(金) 北筑後教育事務所	小学校新任教務主任 (30名)	保健主事・養護教諭研修会 8月29日(水) 大刀洗ドリームセンター	保健主事、養護教諭 (150名)
南筑後	第2回管内校長研修会 10月18日(火) 南筑後教育事務所	小・中学校校長 (152名)	保健主事(小学校)研修会・新任保健主事研修会 5月15日(月) 南筑後教育事務所	小学校保健主事(109名) 中学校新任保健主事(9名)	八女郡教科等研究会「生活科・総合部会」 5月24日(木) 広川町立広川小	小学校校長・教頭・教諭 (20名)
筑豊	筑豊地区小学校教科等研修会生活科部会 8月12日(金) 筑豊教育事務所	小学校教員 (60名)	「学校における望ましい動物飼育の在り方」に関する研修会 8月30日(水) 筑豊教育事務所	小学校教職員で希望する者 (約50名)		
京築	平成17年度動物飼育に関する担当者研修会 6月30日(木) 京築教育事務所	小・中学校教員 (72名)	第1回小・中学校教頭研修 5月11日(木) 京築教育事務所	小・中学校教頭 (72名)		
県全体			福岡県総合的な学習の時間コーディネーター養成講座 1月18日(木) 福岡リーセントホテル	小学校教諭指導主事 (100名)		
計	7研修会 530名		7研修会 401名		4研修会 196名	

[公印省略]



18南教第467号  
平成18年4月26日

福岡県獣医師会事務局長 殿

福岡県教育庁南筑後教育事務所長

平成18年度保健主事（小学校）研修会・新任保健主事研修会  
における講師派遣について（依頼）

陽春の候、ますますご健勝のことと拝察いたします。  
さて、別紙要項のとおり標記研修会を実施します。  
つきましては、本研修会の趣旨をご理解の上、貴会所属 處 愛美 氏 を講師として派遣して  
いただきますよう、よろしくお願ひします。

## 記

- 1 期 日 平成18年5月15日（月）
- 2 会 場 福岡県教育庁南筑後教育事務所  
住所 〒833-0041  
筑後市大字和泉字小山口423  
電話 0942-53-7198  
FAX 0942-53-7527
- 3 依頼内容 「これからの健康教育のあり方」
- 4 対象者 小学校の保健主事教員 109名  
中学校の新任保健主事教員 9名
- 5 講話時間 60分間（15:50～16:50）

## 担 当

福岡県教育庁南筑後教育事務所

教育指導室

指導主事 古賀 俊文

TEL 0942-53-7198

FAX 0942-53-7527

## 「学校における望ましい動物飼育の在り方」に関する研修会実施要項

- 1 目的 学校における小動物及び学習中の小動物の取扱い、小動物を取り巻く環境等の現状を踏まえ、学校の小動物の健全な飼育の条件整備や病気への対応等に関する共通理解を通して、学校教育における望ましい動物飼育を推進するとともに、命ある生き物に対する豊かな心を育む教育の推進に資する。
- 2 主催 筑豊地区生活科・総合的な学習の時間教育研究会  
(会長 香春町勾金小学校 校長 岐部 寛、大任町立大任小学校 校長 諫山 秀代)
- 3 共催 福岡県獣医師会  
福岡県教育庁筑豊教育事務所
- 4 期日 平成18年8月30日(水)
- 5 参加者 市町村立小学校教職員及び管理職で希望する者
- 6 会場 筑豊教育事務所 2階研修室  
飯塚市立岩1401-2  
TEL 0948-25-2603
- 7 日程及び内容

日 程	研 修 内 容
9 : 3 0	
1 0 : 0 0	受 付
1 0 : 1 0	開 会 行 事
1 1 : 3 0	講 話 「学校における飼育動物と動物介在教育」 講 師 福岡県獣医師会 白木原動物病院 中村 美穂 先生
1 1 : 4 0	閉 会 行 事

(社)福岡県獣医師会

会長 藏内 勇夫 様

学校飼育動物専門委員会

委員長 處 愛美

学校飼育動物の飼育支援活動について、福岡県教育庁義務教育課と協議いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 日時：平成21年12月11日(金)15時～16時
- 2 場所：県庁4階 教育庁義務教育課
- 3 協議者：義務教育課 麻生秀樹 主幹指導主事  
渡辺清二 指導主事  
福岡県獣医師会 處 愛美 学校飼育動物専門委員長  
中村美穂 // 副委員長  
倉重 聖 // 委員(北部家畜衛生保健所長)
- 4 主な協議内容：
  - 1) 21年度獣医師会学校飼育動物専門委員会実施報告 文書による  
今年度の教員研修、ふれあい教室等の実施報告書を提出した。  
平成18年度より行ってきた教員研修がだんだん少なくなってきたことに触れ、23年度の改訂学習指導要領の完全実施に向けて、再度研修の見直しをするべきとの方向で意見が一致した。
  - 2) 研修方向と方法  
平成17年度に行った全県対象の研修会后、各教育事務所毎の小ぢんまりした研修会の方がきめ細かな対応ができるとの判断で実施してきた。  
しかし、担当者研修等は毎年同じ内容というわけにもいかず、研修が途切れることにもつながってきた。そこで、北筑後教育事務所のように新任者研修に組み込めば対象者は毎年変わることになる。  
また、教育センターでの研修に組み込むことも可能であり、県教委としても、獣医師会との連携の仕方、研修の持ち方を検討することになった。
  - 3) 学校からの相談窓口（気兼ねなく相談できる場所）  
相談窓口については、各小学校、地教委への徹底がなされていない現状を鑑み、まず1月15日県教委義務教育課開催の指導主事研修の中で、獣医師会との連携が存在することを、アナウンスしていただくことになった。

このことは同時に各教育事務所、地教委への連絡事項として義務教育課から文書を出していただく。(文書の作成にあたっては、各地域毎に窓口となる獣医師をわかりやすく紹介する等、渡辺指導主事と處委員長の間で具体案を協議する。)

#### 4) 学校飼育動物飼養実態の把握

小学校での動物飼育状況については、飼育の有無が生活科実施報告等で判るが、動物種や飼育形態等の詳細の報告はなく、調査もしていない。

新学習指導要領の完全実施にあたって、どのような形で動物飼育を実施するかは小学校長の判断であり、県教委がそこまで踏み込んだ指導はできない。

『極端に言えば、カブトムシでも、水槽の中の魚でもそれは可能であり、思いがけないクレーマーの出現等を考慮すると、哺乳類や鳥類のほうが情を通わせられることはわかっている、水槽の中の生物・・・となってしまう(麻生主幹が心情をのぞかせ、これが教育現場の現実であろう)。』

#### 5 その他

今後は、渡辺指導主事と密に連絡を取りながら取組みを具体化していくことを確認して協議を終了した。